

奈良・平城宮跡(第二九次)

- 1 所在地 奈良市佐紀町・法華寺町・北新町
- 2 調査期間 一九六六年(昭41)七月～十一月
- 3 発掘機関 奈良国立文化財研究所
- 4 調査担当者 榎本亀次郎
- 5 遺跡の種類 宮殿・官衙跡
- 6 遺跡の年代 奈良時代～平安初期
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要
この調査は、一九六六年当時、平城宮の東面南門推定地とされていた地点を含んで行った。その結果、宮城東面大垣は調査地域東端で発見したが、推定地には門の遺構はなく、大垣もそれ以北へつながら形跡はなかった。木簡は平城宮東面大垣の西側を北から南に流れる溝SD三四一〇とそれに併行する溝SD四四八八、および、調査地域の西端の土壙SK四三三五から出土した。SD三四一〇からは計八点、SD四四三三からは一〇〇点、SK四三三五から二点出土した、総計一二〇点である。

8 木簡の积文・内容

SD三四一〇

- | | | | |
|-----|---|-----|-------|
| (1) | 「未選秦人行
仕丁建部乙公
(139)×(45)×(5) | 081 | 三二一〇号 |
| (2) | 「凡直 ^[見カ] □□白米五斗」
141×19×4 | 031 | 三二一二号 |
| (3) | ×□丸部臣廣庭× | 091 | 三二一八号 |
| (4) | ×□□ 加利等一尾治字 ^[甘カ] □× | 091 | 三二一六号 |
- SD四五七一
- | | | | |
|-----|------------------------|-----|-------|
| (1) | ×□八位下川邊藥× | 091 | 三二三〇号 |
| (2) | ×麻呂夕冊× | | |
| | ×呂 ^{日百廿} 夕六十× | 091 | 三二二二号 |
| (3) | ×内舍人勲十□× | 091 | 三二二八号 |
| (6) | ×朝臣襲麻× | 091 | 三二二一號 |
- 9 関係文献
奈良国立文化財研究所 『平城宮発掘調査出土木簡概報四』
同 『平城宮木簡三』
一九六七年
一九八〇年
(鬼頭清明)